

平成 27 年 12 月 11 日

保護者各位

栃木県立矢板高等学校

校長 平 石 厚 夫

## 「キャリア教育優良学校」文部科学大臣表彰決定のお知らせ

保護者の皆様には日ごろより、本校の教育活動に対しまして、ご理解・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて本校では、これまでも地域貢献活動等を中心に、各学科の特色を生かし学科間の連携を図りながら、地域産業の担い手育成と生徒一人一人の進路実現に向けたキャリア教育活動の充実・推進に取り組んでまいりました。

本校のこうした生徒一人一人の主体的に課題を発見していく力や、創造性を育む取り組みがキャリア教育の充実発展に尽力した成果として評価され、本年度、文部科学省の第9回キャリア教育優良学校表彰の被表彰校に決定いたしましたのでお知らせします。

以下に、その取り組みの概容をお知らせするとともに、今後とも生徒一人一人の取り組みに対し、さらなるご協力とご支援をお願い申し上げます。

なお、表彰式は12月17日(木)、国立オリンピック記念青少年総合センターで行われます。

### 記

#### 1. チーム☆道の駅「料理レシピの提供」

栄食科3年生が、地元野菜を使った料理を試作・改良してレシピカードを作成、矢板市「道の駅」にH23年3月より毎年提供している。この取組は道の駅の重点目標である「矢板のブランド化」「地域産業を盛んにする」「地域住民の交流の場づくり」に寄与、地域貢献を果たしている。

#### 2. 地域企業連携「やいた(焼いた、矢板)おにぎりの開発と商品化」

H25年に栄食科は、東北自動車道「矢板北パーキング・エリア(株)ネクスコ東日本リテイル」の依頼により、農経科が生産した米と矢板産の食材を使った「焼きおにぎり」「やいた(焼いた、矢板)おにぎり」の開発に着手。上記の食材を活用した数十種類の試作を経て、最終的に「オム焼きおにぎり」「越前煮風焼きおにぎり」を選定、商品化された。

#### 3. 福祉のこころ育成事業

矢板市福祉協議会の地域福祉の学びを深めることを目的とした「福祉のこころ育成事業」により、H27年5月29日、矢板高校は矢板市福祉協議会より「福祉のこころ推進校」に認定された。現在、福祉のこころ推進校として全学科連携のもと、福祉まつりや学生ボランティア活動、外出支援マップ協力店周知活動を実施している。今後は、地域シニアクラブ活動の企画運営などにも取り組んでいく予定である。